

上小っ子 生活のやくそく

上小っ子生活のやくそくは、上川沿小学校の児童全員が、安全に楽しく生活できるようにするためのものです。

明るく、楽しく、安全な上川沿小学校にするためにも、一人一人がやくそくを守ってすごしましょう。

1. 登下校について

- できるだけ歩いて登下校しましょう。
- 決められた通学路を、交通ルールを守って登下校しましょう。
- できるだけ、2人以上で登下校するようにしましょう。
- 玄関と駐輪場・連絡通路の間の移動は、舗装路の白線の内側を歩いて移動しましょう。
- 迎えを待つ場合は、自転車置き場で待ちましょう。
- スポ少活動の開始時刻までや送迎を待つ場合は、ハートルームで待つことができます。職員室に報告し、ハートルームで静かに勉強をして待ちましょう。
- 職員室へは、防寒着や帽子などを脱ぎ、ランドセルを置いてから入室します。
「失礼します。〇年の〇〇〇〇です。〇〇先生に用事があって来ました。」
と、職員室全体に聞こえる声で話してから入室しましょう。
- 放課後に忘れものを取りに来たときは、職員室に寄り用件を伝えましょう。教室へは先生と一緒にいきます。

自転車乗りについて

ヘルメットを必ずかぶり、交通ルールを守って自転車を使用します

登下校のルール(4年生以上)

- 自宅から学校までの距離が1.5km以上ある場合、安全に自転車に乗ることができる4年生以上の児童は、保護者の責任のもと自転車で登下校できます。また、1.5km未満でも、スポ少活動がある日は自転車で登下校できます。

*自転車での登下校には申請が必要です。

- 学校裏の坂は、反対側から来た車が見えづらいので、自転車から降りて通ります。
- 緑が丘ガード下は、スピードがついて危ないので、自転車から降りて通ります。
- 山館からの農道の丁字路は、自動車の出入りが多いので、学校前横断歩道まで自転車から降りて通ります。
- 学校の敷地内では、自転車から降りて押して歩きます。
- 自転車は駐輪場に整頓して停めます。
- 自転車で登校したら、鍵はランドセルのポケットに入れます。ヘルメットは玄関まで持ってきて、雨具かけの上に整頓して置きます。
- 下校時に雨が降っていたら、安全のために自転車は押して帰るか、施錠して駐輪場に置いて帰ります。

地域や家庭でのルール

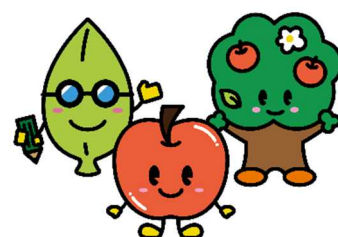
- 1・2年生は家の周り、3・4年生は町内、5・6年生は学区内で乗ります。
- 道路が凍ったり初雪が降ったりしたら、絶対に乗りません。

2. 持ち物について

- 持ち物には名前を書きましょう。
- 前日に、次の日の学習に必要なものを確認してランドセルに入れましょう。
- 学校に着いたら1日の予定と持ち物を確認し、忘れ物をした場合は朝のうちに先生に相談しましょう。
- 校内では名札をつけ、下校のときは教室に置いていきましょう。
- 学習や活動に必要なものは、持ってきたり身に付けたりしません。
- 筆箱に飾りは付けません。ランドセルには1つだけにしましょう。
- ランドセルに防犯ブザーを付けましょう。(毎月点検があります。)
- ロッカーは整理整頓を心がけましょう。スポ少活動で使う大きい荷物などは、玄関雨具かけの下に整頓して置きましょう。

3. あいさつ・言葉づかいについて

- 自分から、相手の目を見て、元気にあいさつをしましょう。
- 誰に対しても、ていねいな言葉づかいをしましょう。



4. 授業中・休み時間について

- 教室を離れるときは、机の上を整理・整頓しましょう。
- 特別教室や別の棟、自分の教室以外には入りません。
(先生に許可をもらった場合はOKです)
- かざってある作品には手をふれません。
- 体育館やグラウンドのルールを守って遊びましょう。
- 委員会活動などでタブレットPCを使用する場合、先生に許可をもらってから使用しましょう。
- 緊急チャイムが流れたらすぐにその場にしゃがみ、静かに放送を聞きましょう。

5. 校外での生活について

- 外出するときは、家の人に行き先、帰る時刻を必ず伝えてから出かけましょう。
- 遊びに行くときは、9時30分以降に家を出ましょう。
- 公園などで遊ぶときは、安全やマナーに十分気をつけ、大人や友だちと遊びましょう。
- 大人が不在の家では遊びません。
- 子どもだけで学区外に遊びに出かけたり、施設や店舗で遊んだり買い物・飲食をしたりしません。
- 大切な物(お金・カード・ゲーム等の貴重品)は手元からはなしません。
- お金の貸し借りや、食べ物などをおごることはしません。ゲーム内でのやりとりも同じです。
- 昼食は自分の家で食べましょう。
- 帰宅時刻を守りましょう。

帰宅時刻 4月~9月→17:30 10月~3月→16:30 春休み中→17:00

- メディアについては、家庭での使用ルールを決め、適切に使用しましょう。